

Monthly Report

Vol.35 広報室

平成21年4月22日発行

第43回体育学部並びに第12回大学院入学式

目次:

平成21年度入学式	1
カーニ応用科学大学短期留学	2
IS!M外部評価委員会 仙台市教育委員会	3
留学生歓迎会 新施設・設備	4
お弁当を学生が考案 全国地域ネットフォーラム	5
バスケットボールワーク ショップ	6
漕艇部の活躍	7
柔道部・陸上競技部・ 体操競技部	8

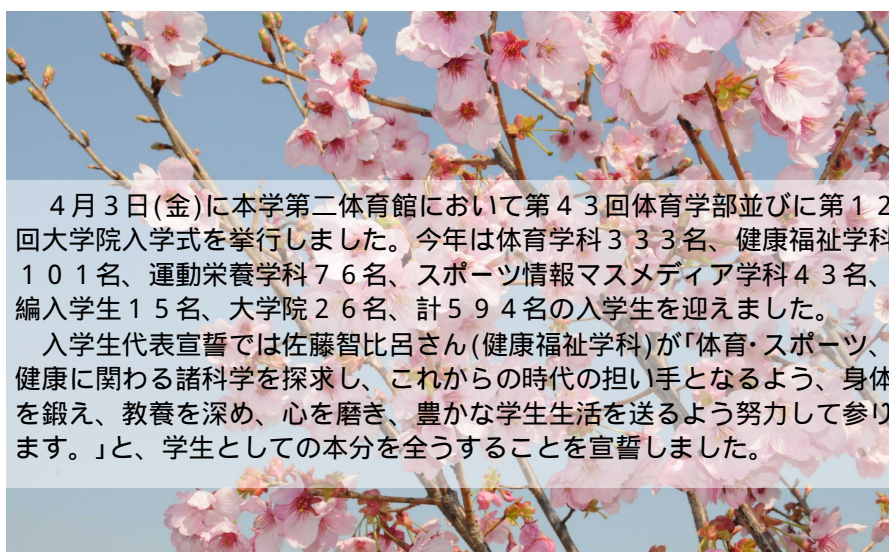
学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

広報室

直通 0224-55-1802
内線 佐藤美保 256
土生佐多 200
伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp



4月3日(金)に本学第二体育館において第43回体育学部並びに第12回大学院入学式を挙行了しました。今年は体育学科333名、健康福祉学科101名、運動栄養学科76名、スポーツ情報マスメディア学科43名、編入学生15名、大学院26名、計594名の入学生を迎えました。

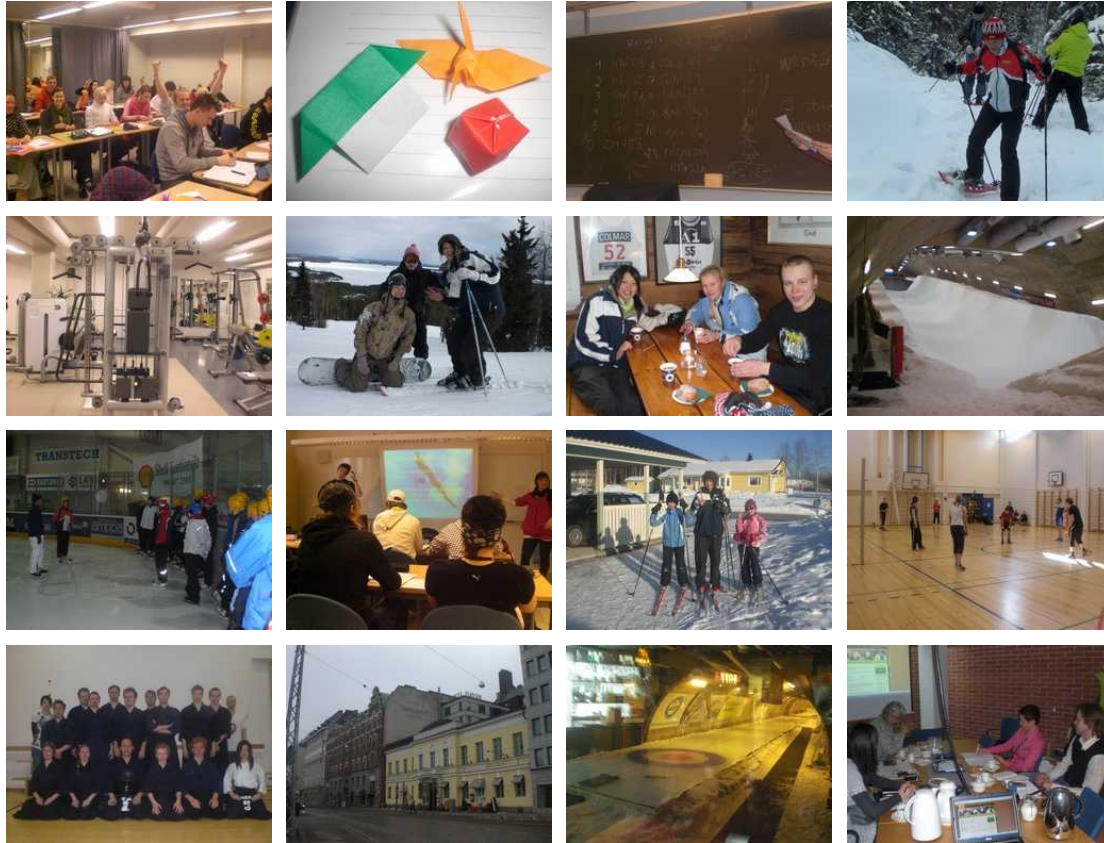
入学生代表宣誓では佐藤智比呂さん(健康福祉学科)が「体育・スポーツ、健康に関わる諸科学を探究し、これからの時代の担い手となるよう、身体を鍛え、教養を深め、心を磨き、豊かな学生生活を送るよう努力して参ります。」と、学生としての本分を全うすることを宣誓しました。



カヤーニ応用科学大学(フィンランド)短期留学

3月17 4月1日の日程で、第3回目となるカヤーニ応用科学大学(フィンランド)への短期留学を実施し、吉田美香子さん(運動栄養学科3年)が様々な経験を得て帰国しました。

カヤーニ応用科学大学と本学は平成18年6月に国際交流協定を締結して交流を深めています。学生の短期留学もその一環で、今年5月にはカヤーニ応用科学大学の学生3名が本学でいろいろな授業を受けたり日本文化を学ぶ予定です。



吉田美香子(運動栄養学科3年)

フィンランドでは授業の他、ダウンヒルスキー、スノーシューイング、ホームステイなどたくさんのご経験を、多くの人たちにお世話になりました。

唯一苦労したのが、フィンランド学生に対して日本文化の講義2時間を任されたことです。数日前に講義するように言われ、何をするか悩みましたが、日本文化の折り紙を教えたり、名前をカタカナで書いてあげたり、数字の日本語での読み方を教えたりしました。講義をはじめるまでは苦労しましたが、クラスの皆が楽しみ、興味を持って取組んでくれたので嬉しかったです。

フィンランドでは常に、日本との違いを意識して生活していました。授業での違いは、日本では先生が一方的に話し、学生が聞く講義のスタイルですが、フィンランドでは学生が質問や意見を先生にぶつけて異なる話に発展していったりもします。新しい意見がさらに新しい意見を生むので発展的で素晴らしいと感じました。

スポーツでの違いは、日本では競技スポーツが主であるのに対して、フィンランドではコミュニケーションを深めるため、健康増進のためのスポーツであると感じました。

今回の短期留学を通じて、英語というツールを使って他国の習慣・文化を体験したり、交流を持ちたいという想いが強くなりました。このような経験はなかなかできないので、他の学生の方にも是非留学してほしいと思います。

カヤーニ応用科学大学ホームページで本学が紹介されていますのでご覧ください。

http://www.kajak.fi/in_english/Interested_in_Studying/Studies-Taught_in_English/Degree_Programme_in_Sports_and_Leisure_Management/SL05S_Web_pages/Experiences_in_Japan.iw3

スポーツ情報マスメディア研究所 (ISIM) 外部評価委員会活動概要説明会開催



スポーツ情報マスメディア研究所 (ISIM) の第1回外部評価委員会活動概要説明会が4月16日(木)、A棟大会議室で開催されました。

ISIMは、体育学領域の中で揺籃期にある「スポーツ情報戦略」と「スポーツマスメディア」両分野の実践活動と教育に関する研究を行い、国際競技力向上活動や地域スポーツ振興に貢献することを目指して2008年4月に開所しました。社会性の高い実践的活動現場と連携しながら研究を展開するというコンセプトに基づき、現在、国立スポーツ科学センター (JISS) や北海道美深町などと連携協定を締結しています。また、ISIMの活動全体を客観的・専門的に評価してもらうため「外部評価委員会」を設置。準備期間と位置づけた2008年度を経て2009年度からの本格的なスタートに合わせ今回、初年度の活動概要を理解してもらうために初めての「外部評価委員会」を開催しました。

説明会では、朴澤学長から出席した評価委員4氏(2氏は公務により欠席)に委嘱状が手渡された後、ISIMの勝田研究所長と研究スタッフから

研究所設立趣旨の説明と、2008年度の活動報告がされました。報告後、評価委員から活動についての質問や今後の取組みへの有意義な提案がなされました。

村松委員からは、「スポーツという大きい文化の中で、一地方大学の研究所の立ち位置が曖昧ではないか。活動はエネルギーで評価できるが、スポーツ全体のどの部分に位置するかを明確にしなければ一般の人にも伝わらない。ISIMの強みを世の中、スポーツコミュニティーに知らしめる事が肝心。整理して発信してはどうか。ISIMの強みは研究員を外に派遣して、その派遣先が研究所になる事ではないか。スポーツは世界中で行われており、世界中がISIMの研究所である。この強みを訴えるべきだ」とのアドバイスがありました。西川、高橋、井上委員からも、研究所の改善点や将来に対する要望など、貴重な意見が出されました。

ISIMでは今後も年に1~2回の外部評価を開催していく予定です。

外部評価委員

笠原一也氏(国立スポーツ科学センター・センター長)

河野一郎氏(東京オリンピック・パラリンピック招致委員会・事務総長)

西川善久氏(河北新報社・常務取締役編集本部長)

村松秀氏(NHKエデュケーショナル・科学健康部エグゼクティブプロデューサー)

高橋稔氏(宮城県体育協会事務局次長)

井上規之氏(北海道教育庁学校教育局地域支援室主査)

仙台市教育委員会来訪



4月15日(水)に仙台市教育委員会から8名が来学し、朴澤学長、佐藤副学長、穴戸学生支援センター長他、関係教職員が出席して、昨年度の学生支援ボランティア活動報告と今年度の取り組みに

ついでの話合いがもたれました。

はじめに仙台市教育委員会学校教育部部長の菅野茂氏より「仙台大学の支援に協力を感じています。学生には部活動指導を中心に生徒達に良い刺激を与えてくれている。今後も引き続いての協力をお願いしたい。」という挨拶を頂きました。その後、千葉学生支援室室長より、平成20年度の活動報告と、今年度の活動予定が示されました。穴戸学生支援センター長からは「現在、派遣する学生には事前研修を実施しているが、大学内で資格制度にするなどして、更に優秀な人材を安心して送り出す体制を整える事が大学の今後の課題。」と話しました。

教育委員会側からも忌憚のない質問がされ、有意義な意見交換がなされました。

消防訓練を実施



3月26日(木)に消防訓練が実施されました。プール機械室から出火したという想定で行われ、教職員及び部活動等で学内にいた学生も数名参加しました。各施設の情報・非難伝達係りから全員非難したとの報告があった後、大河原消防署の担当者から避難誘導時の注意点や連絡の徹底について指導がありました。その後、4名の職員が消火器での消化活動を実際に体験し、日頃からの火災予防と危機管理体制の徹底に注意を喚起しました。

留学生歓迎お花見会



写真：学生支援室提供

4月15日(水)に学生支援センター主催、毎年恒例の「留学生歓迎お花見会」が船岡城址公園で開催されました。今年度の留学生は新入生4名を含む大学院生6名と学部生1名の7名です。教職員をはじめ、法人事務局、語学支援ボランティア学生、外部ボランティアの方を含む、総勢42名が参加しました。

今年は例年よりも桜の開花が早かったために満開は過ぎたものの、花冷えの中、和やかなムードで留学生との交流が図られました。

第二図書館 ～ 入手困難な貴重書も充実～



昨年度までGTセンターとして使用していた施設2棟が第二図書館となりました。東側の棟には専門の洋書を、西側の棟には歴代学長や旧教員、キーナート副学長(特命事項担当)から寄贈いただいた専門書が、寄贈者の顔写真と共に配架してあります。いずれも入手困難な貴重書です。

第二図書館には貴重書が多くあるため、普段は施錠してあります。閲覧を希望する方は付属図書館事務室までお声掛け下さい。

5年に一度 第三種公認 全天候型陸上競技場全面改修



このたび、5年に一度の全面改修を経て、4月4日、陸上競技場が完成しました。レーン、円盤・ハンマー投げの防護ネットも一新し、投擲レーン脇には「仙台大学ロゴ」も入りました。(上記写真参照) 完成前の3月25日には、ミズノ㈱体育施設課の米満氏とスポーツ環境建設代表取締役の重山氏を迎えて、小島体育施設管理コンサルタントによる座学が開かれ、陸上競技部の学生約40名と、スポーツ管理概論受講生などが熱心に受講しました。

横川教授からは、開学当時の写真なども紹介され、「使用頻度の高い陸上競技部だからこそ、他の学生の模範となるよう、施設の管理も含め大事に使用してほしい」と話されました。

入学式のお弁当を運動栄養学科学生が考案



今年の入学式では、運動栄養学科学生が考案したお弁当を入学生・保護者に配布し、食べていただきました。学生からお弁当案を募集したのは今回が初めてで、運動栄養学科で募集したところ、スポーツ栄養を学ぶ学生らしい栄養バランスの取れた作品が集まりました。選考の結果、柴田町の桜をイメージした岡本知夏さんと高橋杏奈さん(共に運動栄養学科3年)が2人で考えたお弁当「美味しばた！勝てるエネルギー満点はなまる弁当」が採用されました。

2人のレシピを元に、弁当づくりは学生食堂を委託しているシダックスが担当し、運動栄養学科の学生20名も当日の早朝6時から盛り付け等の手伝いを行って、1400個のお弁当を用意しました。

岡本知夏さん・高橋杏奈さん(運動栄養学科3年)



ブロッコリーを木に見立て、魚肉ソーセージを桜に見立てました。また、柴田名産のゆずと味噌を使用し、春食材のたけのこ・イチゴを使用しました。主食はおにぎり3個と、練習を控えたス

ポーツ選手に食べてもらいたいエネルギーチャージができるお弁当です。

普段から運動栄養サポート研究会メンバーとして運動部に対して食事提供していますが、これほど多くの人に食べてもらえる機会は初めてなので嬉しかったです。

私達が講義で学び、運動栄養サポート研究会で実践している「スポーツ栄養」の大切さを新入生・保護者に知っていただく良い機会となりました。



全国地域ネットフォーラム

国立スポーツ科学センター(JISS)において全国地域ネットフォーラムが3月23 - 24日に開催されました。このフォーラムは定期的開催され、全国の教育委員会や体育協会などのスポーツ政策に携わる面々が情報交換の場としています。本学からは教職員の他、スポーツ情報マスメディア学科3年生全員と2年生の希望者数名が参加しました。

本学関係者では、勝田学科長が「JISSとの連携によるスポーツ情報戦略研究と人材育成」、二戸部臨時職員が「JISSとの連携による情報戦略活動の実践教育」という題で仙台大学の取組みを紹介しました。また、秋田県教育長保健体育課の「秋田県におけるタレント発掘事業」の発表では、2月に行った秋田体験デーに帯同して活動を行った小原翔平さん(スポーツ情報マスメディア学科2年)が撮影・編集した映像が紹介されました。

小原翔平さん
(スポーツ情報マスメディア学科2年)



自分が制作したものが大勢の前で披露されるのは初めてのことで、プレッシャーも大きかったです。この映像制作を通して編集の技術やタレント発掘事業の知識も得られたので勉強になりました。

将来は子供育成に関わるスポーツ指導者になる事が目標です。スポーツ情報マスメディア学科に進学したのも「スポーツ戦略」というキーワードに魅かれたからです。学科では専門的なスポーツ情報の知識が学べることと、学科全体が「人と人とのコミュニケーション」を大事にし、実践しているので、この学科を選択して間違っていなかったと感じています。今回の秋田のプロジェクトに関わられたのも、学外と交流を持てた機会にコミュニケーションを大切にしたいからです。また、今年度から宮城県サッカー協会U-15の選抜チームのサポートにも携えることになりました。

これからも学内外での活動を介して出会う人とのコミュニケーションを大切にしながら、学生のうちに経験できる事には、どんどん挑戦していきたいと思っています。

運動栄養サポート研究会・硬式野球サポートグループが食事会を開催



3月24日(火)にD棟1F実験・実習室において運動栄養サポート研究会・硬式野球部サポートグループによる食事会が実施されました。

今回の食事会は、硬式野球の競技特性を考慮した食事指導が主たる目的です。はじめに、部員の

体格が一般男性の平均より上回っていることと、練習によるエネルギー消費や、競技特性を考慮すると一日に約3700kcalの摂取が望ましいことが示されました。次に、昨年秋に部員を対象に行った調査の結果、たんぱく質の摂取量が不十分である事と、野菜の摂取量が極端に少ないことが示されました。

これらの点を考慮し、普段の食事から心がける事が話されました。学生らしい発想と感じたのが、部員も好んで食べている「すき家の牛丼」を食事モデルに出し、バランス良い食事につながるためのサイドメニューの利用を呼びかけていたことです。

運動栄養サポート研究会・硬式野球部サポートグループは、栄養指導や間食提供、身体状況調査などを定期的に行っていますが、食事会の開催は2年ぶりです。今回の料理の評判が上々であったことから、今後も定期的に食事会を開き、部員に繰り返し食事の大切さの周知を図り、競技力向上に結び付けたいと話しています。

部員達も示されたデータが自分のデータであったため興味深げに説明を聞いていました。

仙台大学バスケットボール・ワークショップ



3月25 31日に本学体育館や白石CUBEを会場にして第21回バスケットボールワークショップが開催され、全国の高校から男女合わせて80チームの参加がありました。

このイベントは本学の男女バスケットボール部部員が大会の企画運営を一手に担い、大会の審判やスコアラーはもちろん、参加チームの宿泊、弁当の手配に至るまでの全てを担当しています。この実習体験を通して専門技術や運営法、諸先生方の指導法を学ぶ事も目的の一つです。

大会では各会場にATルームスタッフがブースを設けて選手をケアし、スポーツ情報マスメディア学科もインタビューブースを設置して大会を盛り上げました。

大会総轄責任者
女子バスケットボール部主将の
中山美穂さん(体育学科4年)



大会を運営する裏方の仕事(会場設営・試合組合せ・宿舍手配・弁当手配など)を実際に体験して、その苦勞や難しさを痛感しました。自分達が出場している大会も、裏方で支えてくれる人たちがいるから成り立っていると改めて学びました。

ワークショップは無事に終了することができましたが、自分の担当する役割だけを把握して、他の人の役割を共通理解していない部員が多かったため、互いに関連している場面で食い違いが出た事が来年に向けての反省点です。今回のワークショップに参加した出場校からインターハイ出場チームが出ることを願っています。



写真は白石CUBE

第4回しばたまち白石川さくら回廊ボート体験会



4月11日(土)、柴田町北船岡河川敷公園を会場に第4回しばたまち白石川さくら回廊ボート体験会が開催されました。

体験会には柴田町内の3つの中学校と高校から41名が参加。体験会に合わせるかのように満開に咲いた一目千本桜をボートに乗りながら満喫していました。普段乗る機会のないボートを体験した中高生からは「本当に楽しかった。機会があればまた乗ってみたい」「川面から見る桜は本当にきれいだった。」という声が聞かれました。

この体験会は町内の中高生にボートを通じて柴田町の自然のすばらしさを再認識してもらうことや、スポーツ振興の一助となるよう実行委員会を組織し漕艇部員が中心となって実施しているものです。今回会場を漕艇部の練習場から北船岡地区へ移したことで町民や観光客の皆様からの反響が大きく、来年以降は参加者募集の範囲を広げることも検討していきたいと考えているそうです。

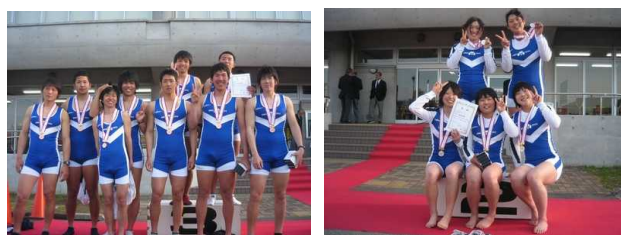
なお、この様子は東北放送等から取材を受けニュース・新聞で紹介されました。

第58回お花見レガッタ エイトで初のメダル獲得

～強豪社会人クルーを抑えて3位入賞～

第58回お花見レガッタが4月4-5日に戸田市漕艇場で開催されました。この大会は社会人の強豪チームも出場する伝統ある全国大会で、今シーズンを占う大事な大会に位置づけられています。

本学漕艇部は、男子エイトと女子クォドルプルに出場し、男子エイトは、僅か6回目の挑戦で3位入り、初めてメダルを獲得しました。女子クォドルプルも2位となり、男女共に今シーズンを良い結果でスタートする事ができました。



柴田町白石川河川清掃に漕艇部が参加



3月28日(土)に柴田町が主催する白石川河川清掃「桜まつり おもてなし大作戦」が実施され、町内の事業所や各種団体の方々と共に、漕艇

部24名が参加しました。漕艇部がこの活動へ参加するのは今回が4年目で、活動中には町民の皆さんとの交流も深められたようです。

漕艇部はこの他にも、宮城県が主催するスマイルリバーサポーターに登録して、普段練習の場になっている白石川河川敷の清掃や除草活動作業のボランティア活動を行っています。

写真: 学生課 石森職員提供

田中美衣さん(体育学科4年) ユニバーシアード大会代表決定



写真:南條講師提供

柔道部田中美衣さん(体育学科4年)が7月7 - 11日にセルビアで開催されるユニバーシアードの柔道女子63kg級の代表に内定しました。

1月のW杯ブルガリア国際大会での優勝や、4月4日に行われた全日本選抜柔道体重別選手権大会での成績が認められたものです。

ユニバーシアード大会出場は、本学柔道部としても初めてのことです。国際大会でも結果を残している田中さんが、世界の同世代チャンピオンを目指します。

また、田中さんは5月9、10日に開催される柔道グランプリ チュニジア大会出場も決定しました。

日本選抜陸上大会 女子ハンマー投げで佐藤若菜さん(体育学科4年)が2位



8月にベルリンで開催される世界選手権の代表選考を兼ねた「日本グランプリ第1戦日本選抜陸上和歌山大会」が4月18、19日に行われ、女子ハンマー投げの佐藤若菜さん(体育学科4年)が記録54m24で2位となりました。

男子体操の全日本選手権に学生と本学OB合わせて18名が出場

4月25日、26日に国立代々木第一体育館(東京都)で開催される全日本体操競技選手権大会に学生9名の出場が決定しました。この大会は個人日本一を決める大会で、10月の世界選手権と7月のユニバーシアードの代表選考も兼ねています。

亀山耕平さん(体育学科3年)、宗像 陸さん(体育学科2年)の活躍に期待がかかりますが、1年で唯一出場する富澤祐太さん(体育学科1年)の演技にもご注目下さい。

富澤さんは本学が同法人の明成高校と平成18年度にスタートさせた体操の高大連携事業の1期生で、高校では東北を制した逸材です。初出場とどこまで通用するか注目です。

本学OBも9名選出され、出場者114名のうち、本学出身者としては18名が出場します。



仙台六大学野球春季リーグまもなく開幕

仙台六大学野球春季リーグが4月18日に開幕しました。今年のチームは安田尚造主将(体育学科4年)を中心にチームがまとまっており、戦力が整っております。

本学硬式野球部は第2節(4月25日)から登場し、開幕戦となる東北大学との戦いに挑みます。

詳細は硬式野球部ホームページをご覧ください
http://homepage2.nifty.com/scpe_bbc/



第89回天皇杯全日本サッカー選手権県予選が開幕

4月19日に第89回天皇杯全日本サッカー選手権県予選が開幕しました。この大会は高校・大学・社会人が出場する大会で、優勝チームはJリーグのチームも参加する本大会に進みます。昨年準優勝だった本学サッカー部は、4年ぶり2度目の本大会出場を果たすべく、5回戦(8月9日)から登場します。

